

CASBEE[®] 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ベルタウン(仮称)久世店 新築工事	階数	地上2F
建設地	京都市南区久世築山町128番1 他	構造	S造
用途地域	準工業地域, 防火指定なし	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,110 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年11月 予定	評価の実施日	2019年2月20日
敷地面積	7,789.15 m ²	作成者	中塚 信
建築面積	4,202.00 m ²	確認日	2019年2月20日
延床面積	5,631.71 m ²	確認者	中塚 信



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 100%
 ②建築物の取組み 82%
 ③上記②以外の 82%
 ④上記+ 82%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項	
総合 主用途が物品販売業を営む店舗であり、お客様のための環境および近隣への環境に及ぼす影響を考慮に入れた建築計画としました。→Q1,Q2,Q3が高くなる。 また、店舗営業上のランニングコストを抑える意味もあり、総合的に消費エネルギー量が低くなるよう考慮した設計としました。→LR1,LR2,LR3が高くなる。	その他 2階駐車場の屋根により1階室内への熱負荷が軽減。→Q1,LR1,LR3が高くなる。 照明設備の細かな系統分けを行い無駄な電力を使用しない設備。→LR1,LR3が高くなる。
Q1 室内環境 十分な性能の空調設備。→Q1/2.1.1が高くなる。 ゾーン別空調制御を行う。→Q1/2.1.3が高くなる。 温度差や気流に配慮した給排気計画。→Q1/2.3が高くなる。	Q2 サービス性能 バリアフリー条例の整備基準を満たす。→Q2/1.1.3が高くなる。 売場の天井高3.0m以上。→Q2/1.2.1が高くなる。 壁長さ比率<0.1となる建物。→Q2/3.1.2が高くなる。
LR1 エネルギー BEIm=0.80となる一次エネルギー消費量。→LR1/3が高くなる。 建物で消費される各種エネルギー消費量を年間に渡って把握。→LR1/4.1が高くなる。 運用管理体制の組織化、責任者指名。→LR1/4.2が高くなる。	LR2 資源・マテリアル 水栓に節水コマ、節水型水栓を採用。→LR2/1.1が高くなる。 持続可能な森林から産出された地域産木材を一部に使用。→LR2/2.5が高くなる。 ODP=0の冷媒を使用。→LR2/3.2.3が高くなる。
Q3 室外環境(敷地内) 京都市の景観計画区域にあり届出を行っている。→Q3/2が高くなる。 地域産木材を使用。→Q3/3.1が高くなる。 防犯性を意識した計画。→Q3/3.1が高くなる。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が一般的な建物より高評価。→LR3/1が高くなる。 廃棄物処理負荷抑制に積極的に取り組む。→LR3/2.3.4が高くなる。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される